



# ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



南側の森が伐採されベンチが現れました  
第42号  
R6.3.1発行  
文責 永田 功臣

## 授業参観・学級懇談お世話になりました

29日(木)に本年度最後の授業参観を実施しましたが、多数ご参加いただきありがとうございました。参観前の全体会では、「PTA会則の改正」及び「次年度に向けた組織づくり」について審議いただき、ある程度の方向性が見えてまいりました。今後とも、PTA活動に積極的な参加をお願いいたします。

授業参観では、全学年(2年生を除く)とも最近の学習の成果を発表しましたが、いかがだったでしょうか。今年度のお子様「伸び」をしっかりとほめていただくと、新年度の意欲にもつながりますのでよろしくお願い申し上げます。



2年生につきましては、3月14日(木)に実施します。

## 地域の方からメッセージ



19日(月)に「ありがとう集会」を開き、各種ボランティアの方々に子どもたちから感謝の気持ちを伝えました。その時に見守りボランティアの藤田様より私宛にもメッセージをいただきましたので紹介します。これからも成長した姿で返していきたいでしょう。

絵画、詩等、立派な成績で感心します。また、テレビでの受け答え、感想・意見も自分の考えとして堂々としっかりと発表していて頼もしく思いました。  
地域との交流も多くあり、子ども達が成長し、故郷に思いを馳せる時、よい思い出としてよみがえってくるのではないのでしょうか。見守りのおばちゃん、おじちゃんは元気かなと思ってくれたらうれしいです。  
(一部を抜粋)

## お知らせ

先日お知らせしました「遠野長男会」の寄付金で、今回は『ピアノ用の椅子』を購入させていただきました。椅子が破損していたため新調し、式典などの折に活用させていただきたいと思っております。ありがとうございます。



## ☆はうかう☆

～卒業・進級に向けて～

「三学期の過ごし方」  
六年生になるには、まだ足りないことがあると思います。例えば、自分で考えて行動することや新一年生のお手本になることです。  
残りの日々は、みんなで決めた「今、自分が何をしなければならぬか考えて行動する」というめあてを忘れないように毎日意識して生活したいと思います。  
(作文より一部抜粋)

「三学期の過ごし方」

五年 林田 花暖

「三学期の過ごし方」  
六年生のように学校を引っ張っていきけるようになるために、苦手なことも進んでやりたいです。また、周りを見て、声をかけたり、手伝ったりできるようになりたいです。  
まずは、声かけを全体にできるように、みんなが集まったりする時に心がけながら残りの日を過ごしていきたいです。  
(作文より一部抜粋)

「三学期の過ごし方」

五年 杉本 月鈴

※ 5年生も協働的に学べるようになってきました。生活面も同じように、5人で協力し切磋琢磨しながら、自分たちらしい励徳小の最上級生を目指してください。

## もっとサイエンス



「中学生が二ホンオオカミのはく製だと気づく」というニュースが流れました。博物館に「ヤマイヌの一種」として保管されていたはく製を小学4年生の時に見て、絶滅した二ホンオオカミだと思ったそうです。それから、自由研究で発表をし、その後博物館の方たちと共同で研究しながら今回論文を発表したとのことでした。粘り強く研究に取り組む事もさることながら、まず、二ホンオオカミであると気づいたところに驚きがあります。この中学生は小学2年生の頃から二ホンオオカミに興味を持ち、博物館を見学したり、調べたりしていたそうです。

このコーナーで大切にしているものは、この「気づく目」です。気づくためには、興味や学びが必要です。いろんなことに興味を持ち、自分から調べてみるという習慣をつけてほしいと思います。

今回は、「絶滅危惧種」や「二ホンオオカミ」については触れませんでした。環境の変化によって子孫が絶える生物も少なくありません。それが人の影響によることもあります。ちょっと調べてみませんか。